

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第4区分

【発行日】平成21年8月13日(2009.8.13)

【公表番号】特表2009-500195(P2009-500195A)

【公表日】平成21年1月8日(2009.1.8)

【年通号数】公開・登録公報2009-001

【出願番号】特願2008-519450(P2008-519450)

【国際特許分類】

B 3 2 B 27/36 (2006.01)

E 0 6 B 3/78 (2006.01)

C 0 8 J 7/04 (2006.01)

C 0 8 G 64/06 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 27/36 1 0 2

E 0 6 B 3/78

C 0 8 J 7/04 C E Z K

C 0 8 G 64/06

【手続補正書】

【提出日】平成21年6月26日(2009.6.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

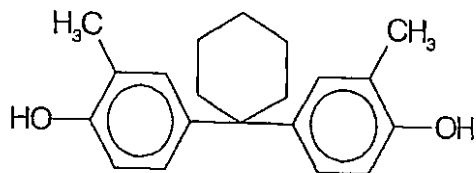
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

枠、及び前記枠によって支持された第一シートを含み、
前記第一シートが第一層を含み、且つ
前記第一層が、下記の構造 I :

【化1】



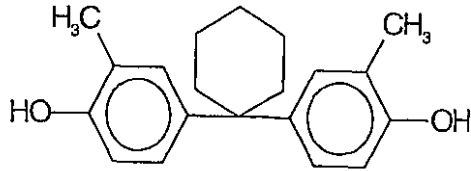
I

のモノマーから誘導される反復単位を含むポリカーボネートを含む、窓。

【請求項2】

基板及び第一共面層を含む層状シートを含む物品であって、前記第一層が、下記の構造 I :

【化 2】



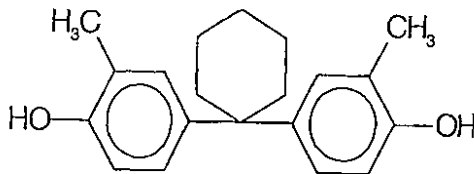
I

のモノマーから誘導される反復単位を含むポリカーボネートを含み、且つその表面積の少なくとも20%が透明である、物品。

【請求項 3】

電気設備、基盤、カバーを含む封入形電気設備であって、前記カバーが基盤によって支持され、且つ前記電気設備は前記カバーと前記基盤との間に封入され、ここで前記カバーが第一層を含み、且つ前記第一層が、下記の構造 I :

【化 3】



I

のモノマーから誘導される反復単位を含むポリカーボネートを含む、封入形電気設備。

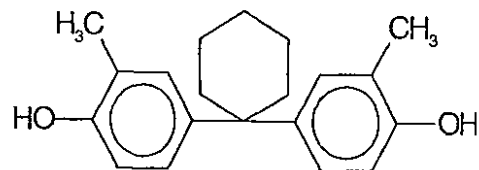
【請求項 4】

請求項 3 の封入形電気設備を備えた建造物。

【請求項 5】

ポリカーボネートの引掻耐性及びアンモニア耐性を改善する方法であって、下記の構造 I :

【化 4】



I

のモノマーから誘導される反復単位をポリカーボネートに導入する工程、及びこれによってポリカーボネートを含むシートの引掻耐性及びアンモニア耐性を改善する工程を含む方法。

【請求項 6】

前記第一シートが内側及び外側を有し、且つ前記第一シートが共面基板を更に含み、ここで前記基板は内側表面にあり、前記第一層が外側表面にある、請求項 1 の窓。

【請求項 7】

前記基板がポリカーボネートを含む、請求項 2 または 6 の窓。

【請求項 8】

前記第一シートが透明である、請求項 6 の窓。

【請求項 9】

前記基板から離れて前記第一層表面に配された共面第二層を更に含み、前記第二層が、シリコンハードコート、アクリレートハードコート、アクリレート下塗りを有したシリコンハードコート、ポリウレタンハードコート、及びメラミンハードコートからなる群

より選択されるコーティング層である、請求項2の物品。

【請求項10】

前記カバーが透明である、請求項3または4の封入形電気設備。